

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-141	A-169	21-016	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
The World Health Organization Risk Drinking Levels Measure of Alcohol Consumption: Prevalence and Health Correlates in Nationally Representative Surveys of U.S. Adults, 2001-2002 and 2012-2013 WHO による危険飲酒レベルの評価: 2001~2002 年及び 2012~2013 年の米国疫学調査による飲酒レベルと健康との関連			
執筆者			
Shmulewitz D, Aharonovich E, Witkiewitz K, Anton RF, Kranzler HR, Scodes J, Mann KF, Wall MM, Hasin D; Alcohol Clinical Trials Initiative (ACTIVE Group).			
掲載誌			
Am J Psychiatry. 2021 Jun;178(6):548-559. doi: 10.1176/appi.ajp.2020.20050610.			
キーワード			PMID
アルコール、WHO のリスク飲酒レベル、飲酒量、健康障害、男女差			33472388
要 旨			
<p>目的: 危険飲酒とアルコール使用障害 (AUD) は世界的に疾病罹患率や死亡率と関連するが、ほとんどの危険飲酒者は未治療である。本研究では、WHO 基準による危険飲酒者割合の経時的変化、危険飲酒と飲酒に関連した健康状態との関連を検討した。</p> <p>方法: 18 歳以上の米国成人を対象としたアルコールおよび関連障害全国疫学調査 NESARC (2001-2002 年) 及び NESARC-III (2012-2013 年) のデータを用い、52,314 名の現在飲酒者を分析対象とした。AUDADIS を用い、飲酒量、飲酒行動、AUD、薬物使用障害、抑うつ・不安障害等の健康状態を調査した。WHO 基準による危険飲酒レベルにより、超高リスク、高リスク、中程度リスク、低リスク飲酒群に分類し、AUD、薬物使用障害、抑うつ・不安障害等の健康障害との関連を検討した。</p> <p>結果: NESARC と比べて NESARC-III では、超高リスク (+0.9%)、高リスク (+0.6%)、中程度リスク (+1.0%) 飲酒者が多く、低リスク (-2.5%) 飲酒者が少なかった。超高リスク飲酒者の増加は、男性 (+0.5%) の方が女性 (+1.4%) に比べて有意に小さかった。NESARC と NESARC-III の双方において、危険飲酒レベルが高いほど AUD、肝疾患、機能障害、抑うつ・不安障害が多く、これらの関連のうち、AUD は男性で、機能障害、抑うつ・不安障害は女性で強かった。</p> <p>結論: WHO による危険飲酒レベルは、健康状態の有効な指標として妥当であることが示された。危険飲酒による個人・社会的な影響を軽減するための予防介入が必要と考えられる。</p>			